

2007年の初夢を語る

今年、団塊の世代が齊に定年退職する2007年問題の年であり、そして13兆円ともいわれる退職金の使い道を当て込んだ、新しいビジネス合戦の年でもあります。山中湖村も、今年は大試練の年であり、また、大きな希望の始まりの年でもあります。年始めの二月中といつこともあり、山中湖村の可能性を一緒に考えてみましょう！

「観光立村山中湖村」としても、政府が「観光立国」を提唱し、今や日本中いたる所が観光地ということですが、そこで特徴ある地域づくりが、今後の運命を左右することになります。言うまでもなく日本一の富士山と湖、それに豊かな自然環境は、どこにも負けない財産ですが、これからはこれにアゲラをかくのではなく、もう一つ決め手となる特徴を持ちたいものです。そんなわけで、『日本一魅力のある村づくり』のための初夢の一端を、ご紹介したいと思います。

山中湖村は、健康で暮らすことに役立つ村です

山中湖村は健康で暮らすことに役立つ村です！

長い間心配していた山中診療所に、やっと今年の春からお医者さんが来てくれるそうです。これで安心ですが、この際、村経営の日本一高度な健康診断体制の整った施設を建設経営したらどうでしょう。いわゆる「人間ドック」的なもので、都会の白い壁の病院ではなく、自然環境の豊かな山中湖で健康診断を行なうのです。

村議ひぐちの 村民かわらばん

2007年 1月 19日 第35号 発行責任者・ひぐち重喜
〒401-0502 山中湖村平野 1698 TEL&FAX 0555-65-7023
ホームページ <http://kawaraban.typepad.jp/>

「通院」はペンション

や民宿を利用したり、観光セミナーや健康料理の講習会もあります。さらに、健康に暮らすための知恵や情報は、山中湖情報創造館に行けば、あらゆる健康関連情報が揃っています。

もし、チヨト落ち込んだ人でも、山中湖村にいれば、日本一の富士山を眺め、輝く湖のほとりやハイキングを楽しみながら健康で暮らす希望を得て、皆ニコニコして帰ってきます。

山中湖村は日本の健康創造立村」といえるのは如何でしょうか？

山中湖村は、教育立国の礎となります

21世紀の国家の命運は、政治力、経済力から「人材力」が決める手だと思えます。つまり能力と魅力ある人材の育成こそが今後の日本と人類の重大な課題だということです。

ところが、日本の教育レベルは年々下降しているといわれます。

一方、世界で最も注目を浴びているのが「教育大国」として北欧のF国があります。「教育大国F」の特色は、能力別学習ではなくグループ学習、小人数学習、個別指導、公民教育、環境教育の徹底です。つまり「おちほれ」を防ぐあらゆる手立てが講じられていることです。

そんな先進的な教育システムを研究し、慎重に採用して、山中湖村を「教育特区」として申請するのも考えだと思えます。

山中湖村のペンションや民宿はこれらの生徒の受け入れ場所となることも可能です。

山中湖村は、全村が安心・安全の整った村です

山中湖村は、都会に近いリゾート地として静かな別荘ブームが進んでいます。これは、賑やかな観光地と違い、ゆっくりにんびり、くつろぎの空間として別天地の価値を秘めているからです。

当然、訪れる方や住民の安心安全をどのように確保するかが、最大の行政課題となります。

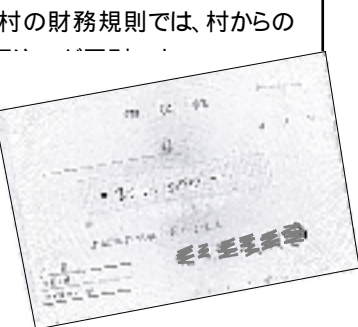
その場合、高度情報化社会のハイテクシステムや技術を導入すれば、火山噴火

や地震に対する防災面は勿論、独り住まいの方々の健康管理や、村民の生涯教育の環境などが、小人数のグループでも自宅でも入手することが可能となります。

森と湖と 知の香りのする村」になります

世界の聖地といわれる所は、およそ標高800〜1000mの位置にあり、標高1000mは人間の脳の活動や健康状態に一番適しているといわれています。

そんな環境の中で、高度情報通信のインフラが整っていれば、知的産業の研究部門



あなたの税金の使われ方(1) スサannaな公金処理

山中湖村の財務規則では、村からの支払いは...しかし、平成17年度決算の中に、「山中湖村の自然誌」を執筆した12名の方への謝礼として、総額150万円の現金が支払われています。これが、その領収証だということです。

宛名が無いもの11枚、日付がないもの9枚、所の無いもの8枚、全部が収入印紙もなく、源泉徴収票もありません。財務規則や印紙税法に抵触する疑いがあり、監査員の羽田伸司議員は、「よく見ていない」と弁明しています。このような事実がありながら、樋口を含む2名以外の議員(議長は欠席)は、17年度決算報告を適切だとして認定しました。

お知らせ 「報道特捜プロジェクト・続編」が放送されます。 1月20日(土)13:30~3:00・日本テレビ (YBSでは別番組)

12月定例会議内容のご報告 1月28日(日)午後2:00~4:00
これからの山中湖を考える談話会 於・山中湖情報創造館

お気軽にご参加...お待ちしております いろいろなお質問やご意見をお聞かせください

行政を動かす 住民パワーを 持とう!

行政は大きな権限を持っています。そして大きな可能性も持っています。

しかし、「住民自らが治める」といって自治本来の精神に立ち返り、住民が自分達の村をより良い村にしようと立ち上げれば、行政はダイナミックに動き始めます。直面する出来事にひるむことなく、祖先や先輩達が努力した貴重な経験の上に、希望の歩を踏み出せば、魅力ある山中湖村を後世に遺していけると信じています。